

# 1次関数

年 組 名前

/5

- ① 傾きが4で、 $x = -2$ のとき  $y = -7$  となる1次関数を求めなさい。

- ② 傾きが-6で、 $x = 1$ のとき  $y = -18$  となる1次関数を求めなさい。

- ③ 傾きが-7で、 $x = -3$ のとき  $y = 29$  となる1次関数を求めなさい。

- ④ 傾きが3で、 $x = 8$ のとき  $y = 19$  となる1次関数を求めなさい。

- ⑤ 傾きが8で、 $x = -4$ のとき  $y = -38$  となる1次関数を求めなさい。

# 1次関数

年 組 名前

/5

- ① 傾きが4で、 $x = -2$ のとき  $y = -7$  となる1次関数を求めなさい。

傾きが4であるから、この1次関数を  $y = 4x + b$  と表すことができる。

$$x = -2 \text{ のとき } y = -7 \text{ であるから、 } -7 = 4 \times (-2) + b$$

これを解くと、 $b = 1$

$$\text{よって、} y = 4x + 1$$

$$y = 4x + 1$$

- ② 傾きが-6で、 $x = 1$ のとき  $y = -18$  となる1次関数を求めなさい。

傾きが-6であるから、この1次関数を  $y = -6x + b$  と表すことができる。

$$x = 1 \text{ のとき } y = -18 \text{ であるから、 } -18 = -6 \times 1 + b$$

これを解くと、 $b = -12$

$$\text{よって、} y = -6x - 12$$

$$y = -6x - 12$$

- ③ 傾きが-7で、 $x = -3$ のとき  $y = 29$  となる1次関数を求めなさい。

傾きが-7であるから、この1次関数を  $y = -7x + b$  と表すことができる。

$$x = -3 \text{ のとき } y = 29 \text{ であるから、 } 29 = -7 \times (-3) + b$$

これを解くと、 $b = 8$

$$\text{よって、} y = -7x + 8$$

$$y = -7x + 8$$

- ④ 傾きが3で、 $x = 8$ のとき  $y = 19$  となる1次関数を求めなさい。

傾きが3であるから、この1次関数を  $y = 3x + b$  と表すことができる。

$$x = 8 \text{ のとき } y = 19 \text{ であるから、 } 19 = 3 \times 8 + b$$

これを解くと、 $b = -5$

$$\text{よって、} y = 3x - 5$$

$$y = 3x - 5$$

- ⑤ 傾きが8で、 $x = -4$ のとき  $y = -38$  となる1次関数を求めなさい。

傾きが8であるから、この1次関数を  $y = 8x + b$  と表すことができる。

$$x = -4 \text{ のとき } y = -38 \text{ であるから、 } -38 = 8 \times (-4) + b$$

これを解くと、 $b = -6$

$$\text{よって、} y = 8x - 6$$

$$y = 8x - 6$$